

令和 6 年 6 月 1 8 日

企画部 企画広報課

担 当 : 山 田

電話 : 043-227-4103

業況 DI は仕入れ単価の上昇により 2 期ぶりに悪化した 前年 5 月の水準を上回っている 新卒正社員を採用する企業は前年比大幅増加

～千葉商工会議所 景気動向調査（令和 6 年 5 月）～

千葉商工会議所では、会員情報ネットワークを活用して、地域の景気動向を四半期毎に調査しております。この度、令和 6 年 5 月調査の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

景況感を表す業況 DI（全産業）は、前回（2 月）調査比-3.9 ポイントと 2 期ぶりに悪化しましたが、前年 5 月の水準を上回っています。悪化は円安等で仕入れ単価が上昇したことが主因とみられます。円安傾向や人手不足が続く下で、先行きも慎重な見方を崩していません。

価格転嫁について、「できていない」企業は着実に減少してきています。もっとも、「できている」企業の中でも 10 割転嫁できている先は 15.1%にとどまり、大部分の企業は一部転嫁にとどまっています（全く転嫁できていない先も 9.6%）。

採用意向を窺うと、新卒正社員を採用する企業は 29.7%と前年（20.3%）比大幅に増加しています。そのうち、51.7%の先は採用人員を増やすとしており、人手不足感が深まる中で、企業の人材確保意欲が強くなっています。

【調査概要】

- | | |
|------------|--|
| 1. 調査期間 | 令和 6 年 4 月 30 日(火)～5 月 22 日(水) |
| 2. 調査対象 | 千葉商工会議所法人会員事業所 500 社 |
| 3. 回答数・回答率 | 354 社 70.8% |
| 4. 付帯調査テーマ | 「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」
「人材採用について」 |

千葉商工会議所景気動向調査 (令和6年5月)

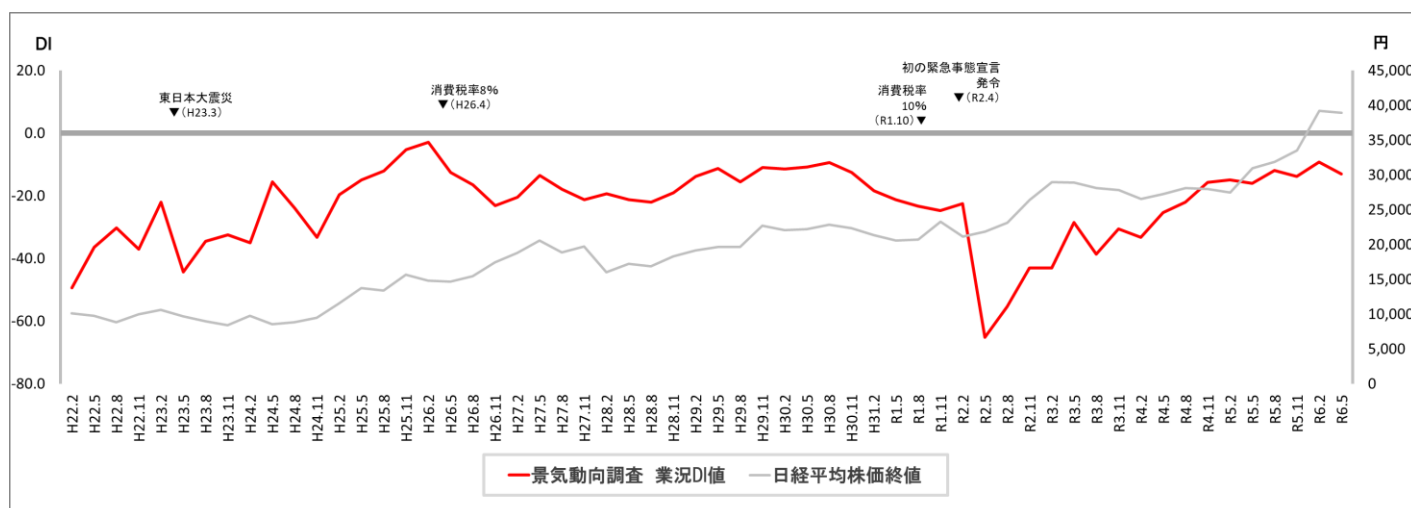
1. 調査期間 令和6年4月30日(火)～5月22日(水)
2. 調査対象 千葉商工会議所法人会員事業所 500社
(建設・製造・卸売・小売・サービスの5業種、各100社)
3. 回答数・回答率 354社 70.8%(建設72 製造76 卸売73 小売70 サービス63)
4. 付帯調査 「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」
「人材採用について」

5. 調査結果のポイント

- ・ 業況DI(全産業)は、2期ぶりに悪化したが、前年5月の水準を上回っている。悪化は円安等による仕入単価の上昇が主因とみられる。円安傾向や人手不足が続く下で、先行きも慎重な見方を崩していない。
- ・ 価格転嫁について、「できていない」企業は着実に減少してきている。もっとも、「できている」企業の中でも10割転嫁できている先は15.1%に止まり、大部分の企業は一部転嫁に止まっている(全く転嫁できていない先も9.6%)。
- ・ 採用意向を窺うと、新卒正社員を採用する企業は29.7%と前年(20.3%)比大幅に増加している。そのうち、51.7%の先は採用人員を増やすとしており、人手不足感が深まる中で、企業の人材確保意欲が強い。

6. 全産業業況DI

(1) 全産業業況DI値および日経平均株価推移

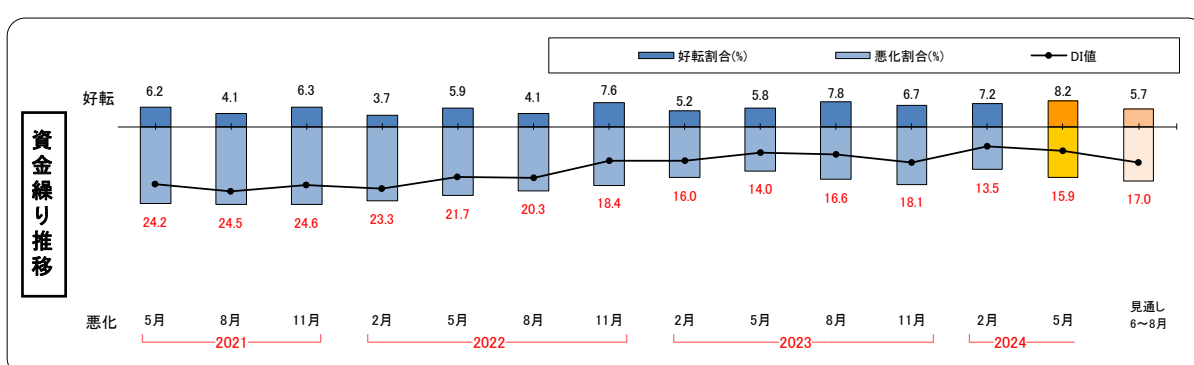
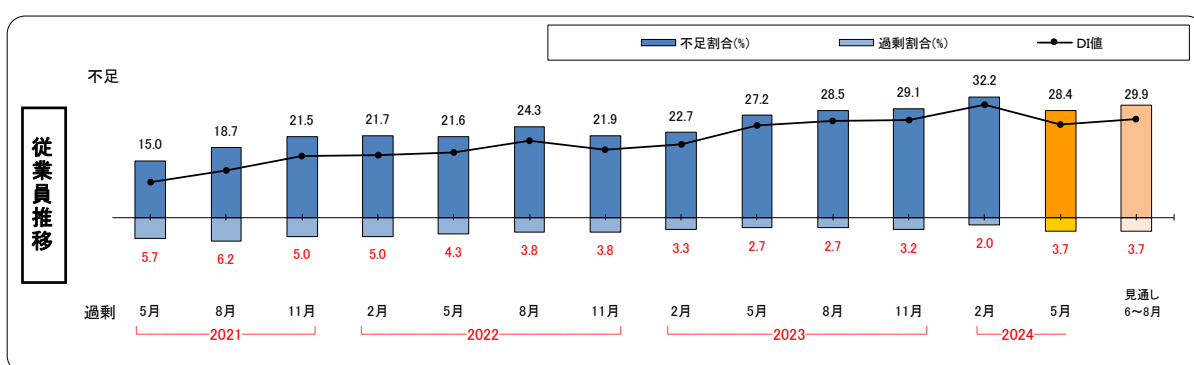
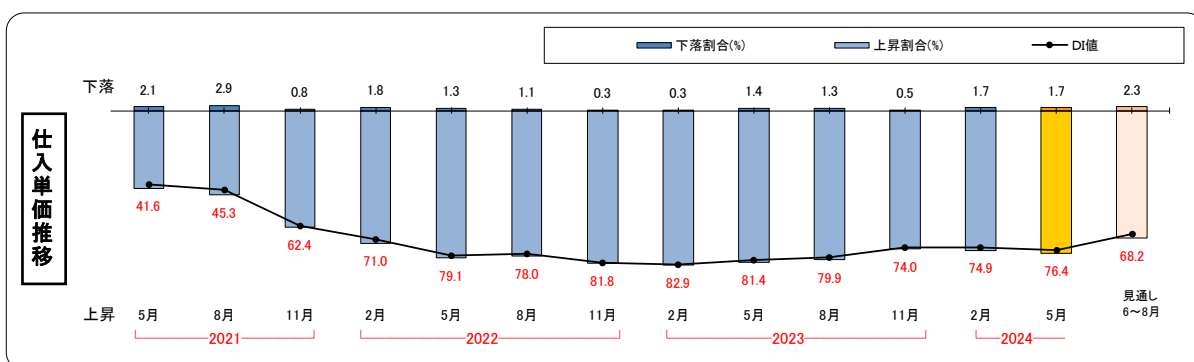
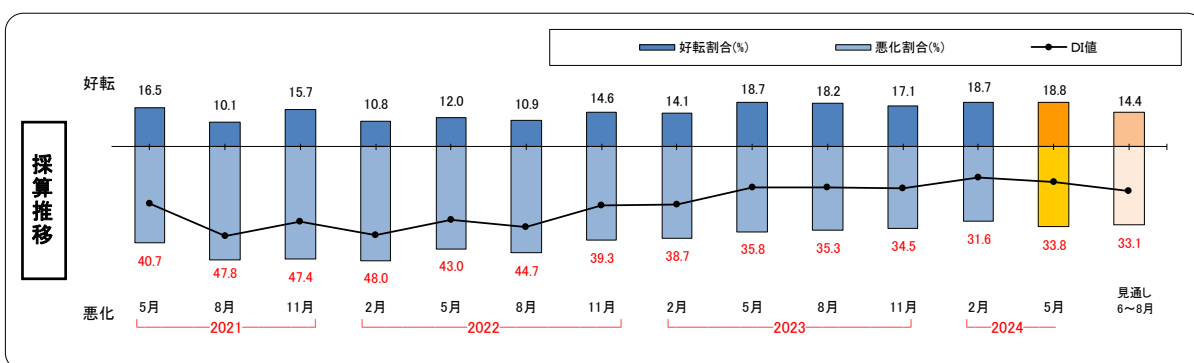
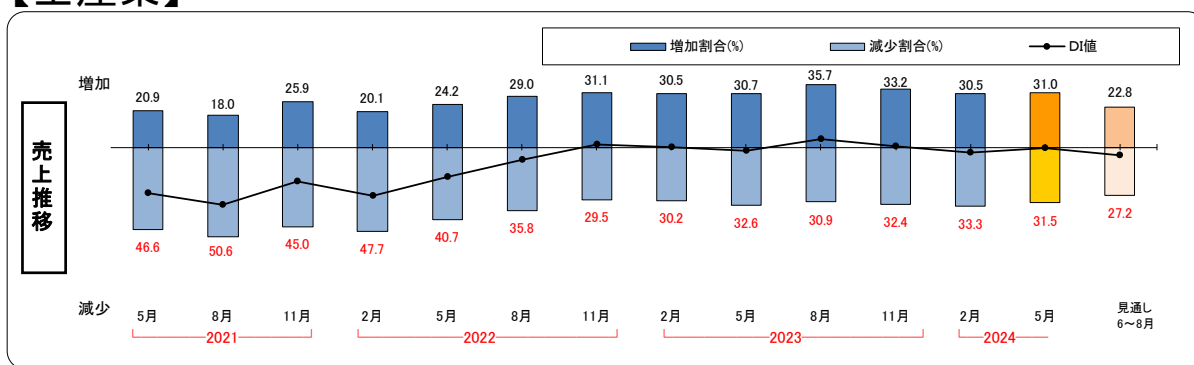


(2) 全産業業況DI値

	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
5月 (前回比較)	▲13.1 (-3.9)	▲18.3 (-3.8)	▲6.7 (-4.1)	▲23.9 (-6.2)	▲12.9 (-12.9)	▲3.2 (+7.0)
6～8月 (先行き見通し)	▲15.9 (-2.8)	▲30.0 (-11.7)	▲10.8 (-4.1)	▲14.1 (+9.8)	▲17.2 (-4.3)	▲6.6 (-3.4)

7. 各DI 値の推移

【全産業】



8. 業種別の企業の声

建設業

- ・適正価格での公共投資を促進してほしい。（職別工事業〔設備工事業を除く〕）
- ・下請への正価支払いを元請へ強く御指導いただきたい。（総合工事業）
- ・小企業に対しての補助金や支援をお願いしたい。コロナ禍前と比べて売上は戻らず、賃金を上げられない実情を踏まえて支援してほしい。黒字で賃上げとは、大企業のための別世界の話に聞こえる。（内装工事業）

製造業

- ・仕入価格（特に材料）が上昇しており、実態と合っていない。給料を増やす（上昇させる）為の策を考えて欲しい。（各種機械・同部分品製造修理業〔注文製造・修理〕）
- ・採用に苦戦している。工業系職種の学生からの不人気さ、千葉市以南地区の生徒数減、進学増と中小企業にとっては大打撃である。そのような状況から、県内の高校を訪問してもあまり良いお話は聞けない状況である。千葉市以南地区からの採用を必須としている中小企業への支援をお願いしたい。（生産用機械・同部品製造業）

卸売業

- ・価格転嫁から価格高騰、そして給与アップと循環するよう国は考えているようだが、給与アップをしたくても売上が減少しているので出来ないのが中小企業の現況となっている。国の政策として給与アップを促す策を中小企業に対して打ち出してほしい。法人税の減税等に期待する一方、現行の政策では不十分であり理解し難い。（雑穀・豆類卸売業）
- ・物価高の影響で消費を控えている為、美容店への来店回数が減少している。（化粧品卸売業）
- ・円安による国内資源の海外流出が非常に増大している。為替が円高になるような政策を期待している。（非鉄金属スクラップ卸売業）

小売業

- ・価格転嫁の域をはるかに超えて、採算や資金繰りの面で大変である。補助金申請の仕方をもっと簡素化して欲しい。（燃料小売業）

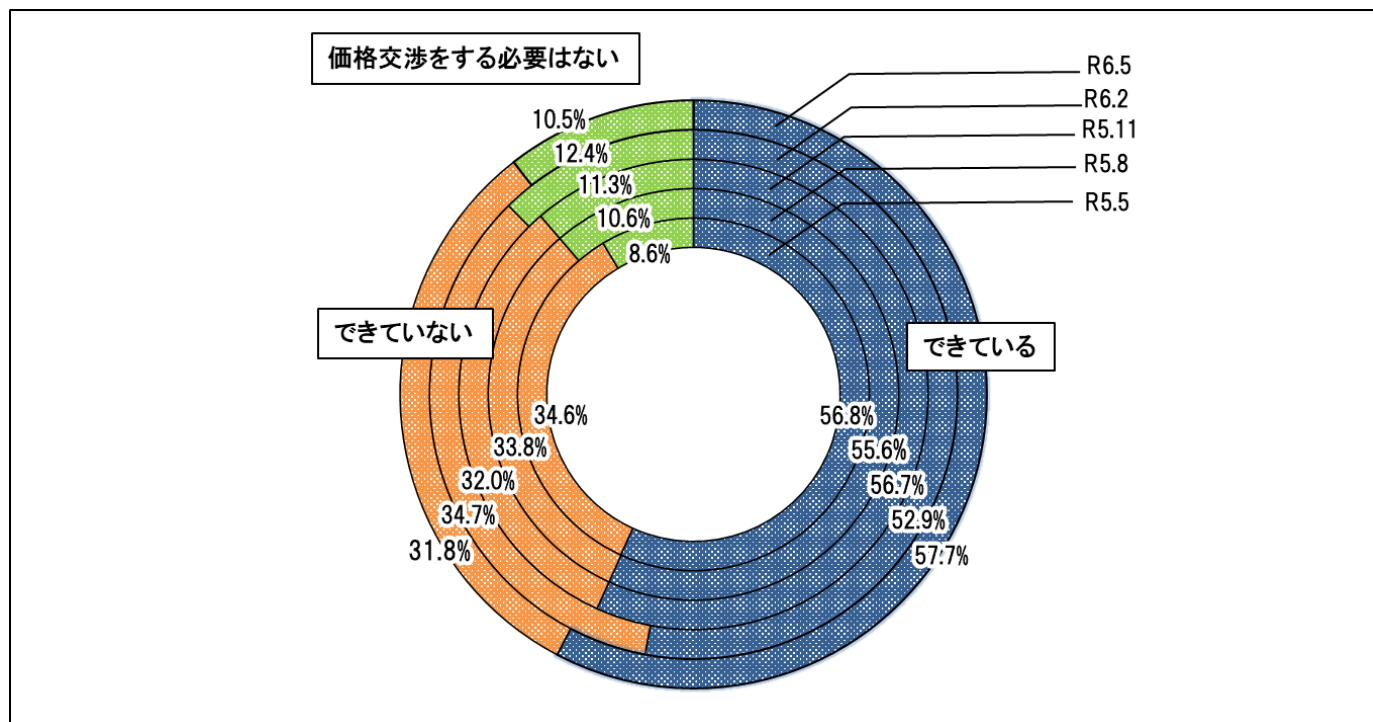
サービス業

- ・中小企業におけるインボイス制度と電子帳簿保存法への対応割合はどれほどのものか。システム構築などによる経費負担増、デジタル対応可否による事務負担に他業者がどのように対応しているのか知りたい。（テレビジョン番組制作業）
- ・人材採用が全くうまくいかない。我々中小企業は高待遇給与が出せず、求職者にオファーを送っても話を聞いてもらえない。求人活動支援サポートに力を入れてもらいたい。（建築設計業）
- ・夏季を控え猛暑の予報が出ている中、国からの補助が6月以降無くなるとのことでホテル業としては極めて厳しい季節を迎える。どの位の水道光熱費の負担増になるか分からないが補助を復活させる等何らかの対応をして頂きたい。（旅館・ホテル）

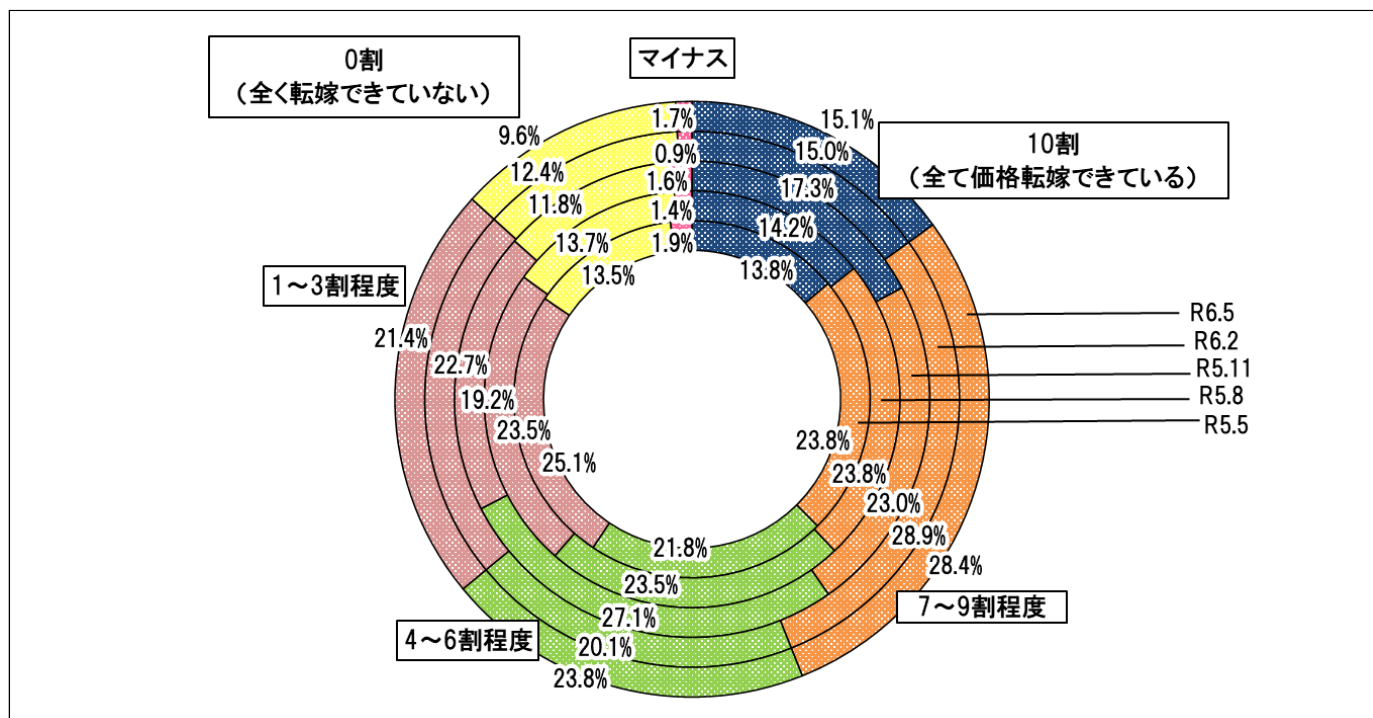
9. 付帯調査

1.コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について

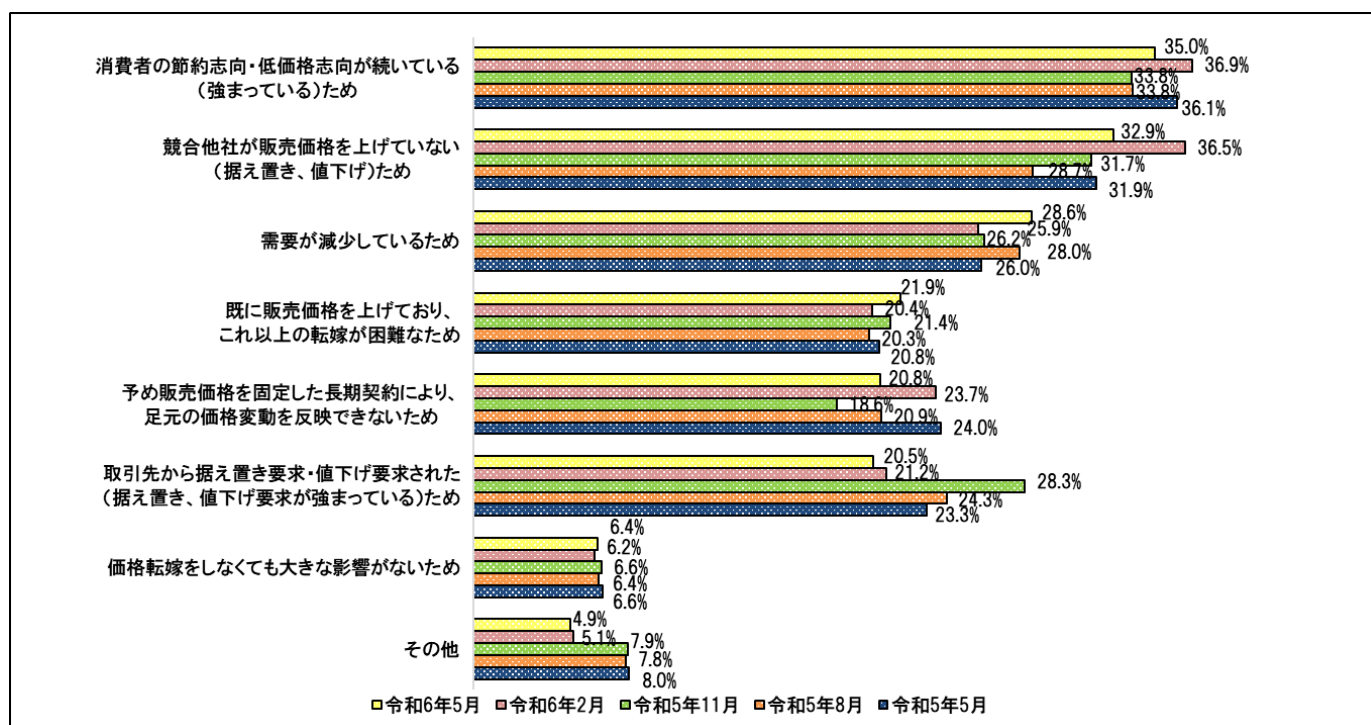
(1)発注側企業と十分に価格交渉(相談)ができているかについて[択一]



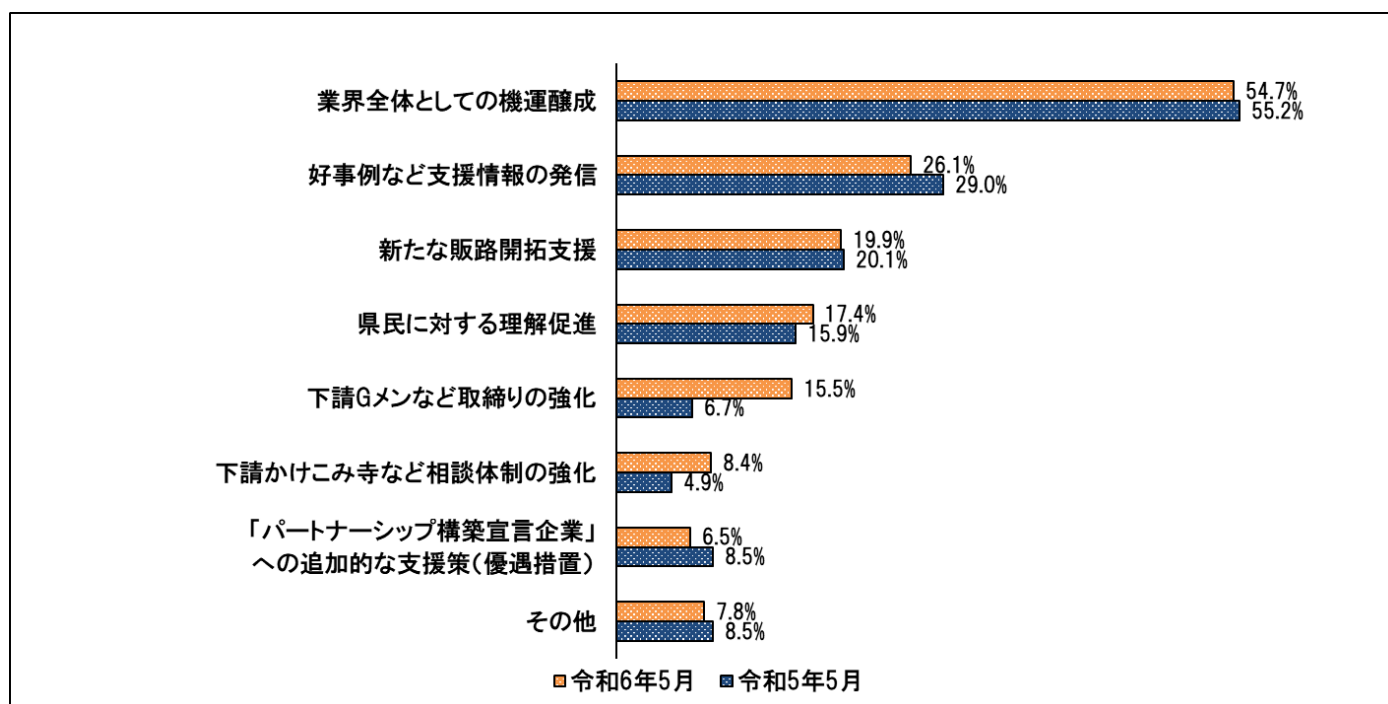
(2)コスト高騰に対してどのくらい価格転嫁ができているかについて[択一]



(3)「設問(2)」で「10割(全て価格転嫁できている)」以外の回答をした企業に伺った。
価格転嫁が十分にできていない理由について【複数回答】

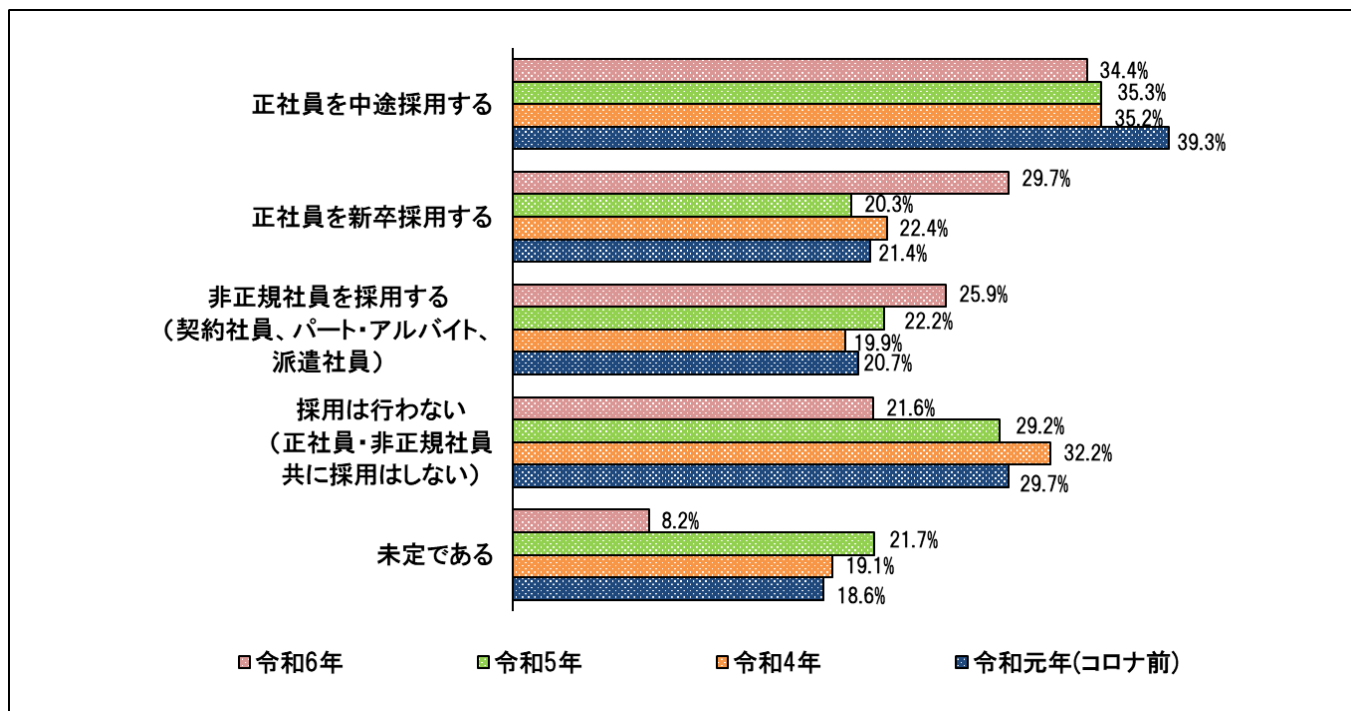


(4)価格転嫁を進めるため、行政(国・県・市)に期待する支援等について。【複数回答】



2. 人材採用について

(1)令和6年度(※)の採用について(※令和6年4月～令和7年3月)【複数回答】



(2)「設問(1)」で「正社員、非正規社員を採用する」と回答した企業に伺った。 昨年度と比較した今年度の採用方針について【複数回答】

